

秋の例会反省会と忘年会

年もおしつまった12月19日の午後、ホテルフジタ内のオールドタイムに前半をリーダー会、後半を忘年会とし16名が集まる。

秋の例会が無事終了したことを確認しあい、来る年に向けての取り組みを話し合った。

1. 秋の例会の反省

来賓（県と東京本部）・講師・アトラクションの方々へのお礼状にはじまり、当日の進行・販売・写真・記録・会計等々、各パート毎の問題点・修正点を出し合ったが、おおむね段取り通りに行けたことを感謝。

2. 来年・15周年という節目にむけて

会場・メインテーマ・講師・アトラクションをどうするかが大きな検討課題である。今年の反省をふまえて会場変更も考えられるが、交通の便や少人数での運営のことを考えれば現状維持とするか、等々。

3. 来年度行事の予定

春のお花見、夏の納涼、秋の紅葉がりや食欲の秋としてのワイナリー探訪、冬のクリスマス、そして一年を通じた活動として、チャリティ・バザー、絵手紙、仏像なぞり描き、アートフラワー等々の声は上がるが、リーダーや講師を如何にするか。

4. 会員数増大の件

- (1) 今の会員の継続を図る
- (2) 新会員への呼びかけ
- (3) 年賀状を今年は出そう

15周年の節目をむかえることと、会員の増加につながるような願いをこめて。

5. 忘年会は、会員の羽場豊・里美様ご夫妻による心あたたまると料理があり、全員「こうして集まれるのが生き甲斐」「お互い話があい」「笑顔に包まれる」とよろこびあう。来年にむけて、各々の場で健康に生きましようね、と散会。



□

本部新年総会に参加して

福井 君子（奈良市）

大阪(浪速)生まれの大阪(浪速)育ち。生粋のナニワ女の私ですが、縁あって古都奈良に暮らす事となり、約半世紀が過ぎました。百歳クラブに入会してはや10年近くなりますが、歩くのが不自由な生活を潤してくれるのが、「クラブ誌」や「クラブだより」の機関誌です。TV ニュースや新聞にも目を通す私ですが、とりわけ「クラブ誌」「クラブだより」を読むのが楽しみで、お会いしたこともないのに、同じクラブ会員の方々がどんな考えで、どんな趣味でどんな生活で頑張っておられるのかを知り、私も励まされてきました。



昨秋、是非一度東京本部の会合に参加してみたいと兼々思っていた気持ちを仲間に伝えたところ、さっと話がまとまり、今回実現したことをとても嬉しく思っております。幼い時から活発で行動的な私でしたが、はてさて東京までとなるとなにかと心配？。気持ちだけは未だ青春ですが。

92歳も何のその、楽しそうな本部例会に参加して、「百聞は一見にしかず」。明るく積極的な皆様を拝見して、頑張ってきた甲斐があったと実感しました。バザー、オークション、じゃんけんゲームも、日頃とは違う刺激を受けて、これからも頑張ろうと明るく楽しいひと時を過ごさせて頂きました。



帰りの新幹線から見えた富士山の清々しい姿は、この旅を一層思い出深いものとしてくれました。



お花見会のご案内（予告）

今年もお花見バスツアーは、高見の郷へ行きます。1000本を超える枝垂桜は圧巻。

4月中旬を予定しています。（詳細は後日お知らせします。）多くの皆様の参加をお待ちしています。